施策評価シート（ 令和4　年度の振り返り、総括）

作成日	令和5 年　04月　07日

施策 No.	7	施策名	文化芸術の振興と文化財の保護・継承
主管課名	文化課	電話番号	0285-83-7732
関係課名	生涯学習課		

1. 計画（Plan）

施策の対象	1）市民　2）文化財の管理者・継承団体等						
対象指標名	単位	令和2 年度実績	令和3 年度実績	令和4 年度実績	令和5 年度実績	令和6 年度実績	令和6 年度見込
人口	人	78,995	78,592	77,635			
指定・登録文化財	件	226	226	226			

施策の目標	文化芸術活動の推進により、市民だれもが文化芸術に触れ親しみ学ぶ機会を拡充する。 文化財の適切な保存管理と伝統文化の継承をする。
成果指標設定の考え方及び指標の把握方法（算定式など）	文化芸術活動推進について ・市民会館利用者・市民会館利用人数は、指定管理者月例報告より把握する。 ・文化協会会員数は、総会時加入団体から報告された人数。 ・久保記念観光文化交流館美術品展示室と久保資料室、まちかど美術館はそれぞれ入場者数とする。 （文化財の保護・継承については、指定・登録文化財や地域の伝統文化など既にあるものを保存継承していくことが目標であるため、総合計画策定において個々の成果目標は設定されなかった。）

成果指標名		単位	平成30年度基準値	令和2 年度	令和3 年度	令和4 年度	令和5 年度	令和6 年度	令和6 年度目標値
市民会館利用人数	目標値	人	89,068	90,856	92,642	94,428	96,214	98,000	98,000
	実績値			15,657	35,423	53,975			
文化協会会員数	目標値	団体	2,130	2,144	2,158	2,172	2,186	2,200	2,200
	実績値			1,975	1,749	1,717			
文化協会加入団体数	目標値	人	131	131	133	135	137	140	140
	実績値			118	102	100			
久保記念観光文化交流館美術品展示室入場者数	目標値	人	16,553	17,242	17,931	18,620	19,309	20,000	20,000
	実績値			2,909	6,920	11,714			
久保記念観光文化交流館久保資料室入場者数	目標値	人	17,138	17,710	18,282	18,854	19,426	20,000	20,000
	実績値			3,137	7,246	5,431			
まちかど美術館入場者数	目標値	人	2,579	2,661	2,748	2,832	2,916	3,000	3,000
	実績値			386	761	1,309			
	目標値								
	実績値								

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	・市民は、自ら積極的に文化芸術に興味を持ち活動する。地域の歴史や文化への理解を深め、文化財を保護継承することの大切さを認識する。 ・行政は、文化芸術活動の企画運営、環境整備を行う。また、文化活動を担う人材、文化団体の育成支援を行う。文化財所有者（管理者）等が実施する保存管理や事業について指導助言を行い、文化財の保護や啓発機会を提供するための環境を整備する。

2. 実行（Do）→個別事務事業の実施による（事務事業マネジメントシート参照）

3. 検証・評価と今後の方向性（Check&Action）

（１）施策目標達成に対する要因分析と課題（①構成事業が与えた影響、②外的要因を踏まえて検証）

・市民会館利用人数については、令和３年度と比較すると約１．５倍に増加したが、目標値の約５７％にとどまり、コロナ禍前の水準まで戻り切れていない状況にある。施設の利用制限は、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和３年１１月１日から令和４年９月３０日までの１１か月間、「大声なし」の利用は定員の１００％で貸館の利用を再開し、「大声あり」の場合の利用は定員の５０％に利用制限した。また、令和４年１０月１日からは無条件で定員の１００％の貸館業務を開始したことなどが利用人数の増加に繋がったと考える。

・文化協会会員数、加入団体数については、減少傾向にあるが、従前より価値観の多様化や、高齢化の進展により会員数・団体数が減少傾向にあったことに加え、新型コロナウイルス感染の影響で団体としての活動や練習ができなくなった等の理由により、団体の解散や文化協会退会が相次いで生じた。課題としては文化協会への新規加入対策や加入団体の情報発信の方策が必要である。

・久保記念観光文化交流館美術品展示館の入場者数については、令和３年度と比較すると約１．７倍に増加したが、目標値の約６３％にとどまり、コロナ禍前の水準まで戻り切れていない状況にある。久保資料室については前年度の入館者数の約７５％に減少した。久保記念観光文化交流館美術品展示館については企画展やワークショップの開催、また、まちかど美術館との連携企画展を開催し、学芸員が引率するギャラリー・トークツアーを新たに企画を開催するなど各美術館の利用促進に努めた。今後も入場者数の増加対策が課題である。

・まちかど美術館の入場者数については、令和３年度と比較すると約１．７倍に増加したが、目標値の約４６％と、半数まで届かず、コロナ禍前の水準まで戻り切れていない状況にある。入場者数の増加として企画展の開催及び３階の市民ギャラリーへの利用促進等に繋げ周知及び広報に努めた。新型コロナウイルス感染症の影響により、開館時間の短縮など制限等を行った。また、１階の「まちかど保健室田町館」との連携に努め、保健室講座で文化課学芸員によるワークショップを開催した。講座終了後、参加者をまちかど美術館へ案内し、展覧会も鑑賞してもらった。今後も入場者数の増加対策が課題である。

・久保記念観光文化交流館美術品展示館とまちかど美術館については誘客を図るため観光部門との連携強化に取り組んでいく必要がある。

・有形文化財の老朽化や破損が生じてきており、また、無形民俗文化財の継承者は減少しており、貴重な文化資源を保護していくための取り組みが必要である。

（２）今後の方向性（（１）の要因分析を踏まえ、施策目標達成に向けた方針を示す）

・市民会館については、指定管理者と連携を密にし、指定管理者が有する企画・運営力を活用し魅力ある事業を実施するため、市のＨＰ等を活用しながら広報周知を図る。指定管理者と定期的に会合を持ち、管理運営上の課題を共有したうえ改善対策を実施することによって、利便性を向上させ市民が利用しやすい市民会館とすることで、市民会館を利用した市民の文化芸術の振興を図る。公益社団法人全国公立文化施設協会(公文協）の「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染症予防のガイドライン」は令和５年５月８日以降、感染症法上の位置づけの変更に伴い廃止になるが、今後においては利用者自身が新型コロナウイルス感染対策に務めながら、市民会館においては基本的な感染対策や衛生管理を徹底していくことが必要である。

・文化協会新規加入対策として、市内で活動している文化協会未加入の文化団体等に対し、文化祭等の作品の出展や発表の機会を通して文化協会への入会を勧誘する。文化協会のホームページを拡充し、各団体の活動内容や会員募集案内を掲出するなど、文化協会の各団体の情報発信を支援していく。

・久保記念文化観光交流館美術品展示室については、魅力ある企画展やワークショップの開催等により入場者を増やすだけでなく、訪れた人が市内近隣の民間美術館（真岡市認定まちかど美術館）を含めた市内施設の回遊性を高める「もおかアート散策マップ」を用いて鑑賞を楽しんでもらう。また、美術館巡りにスタンプラリーも新たに企画として取り入れ、各美術館のほか、観光協会窓口等で配布し、連携を深める。

・久保資料室の展示品は平成３０年から同じ展示品で入れ替えされていないことからリニューアルを今後、検討していく。

・まちかど美術館については、魅力ある企画展やワークショップを開催するとともに学芸員が展示の見どころを解説しながら案内するギャラリー・トークツアーを引き続き開催し、久保記念文化観光交流館美術品展示室との関連企画展を開催して美術品について理解を深めるとともに市民の美術に対する関心を高める。また、３階の市民ギャラリー貸館制度について、各種市民団体等に周知し利用促進を図る。引き続き、１階の「まちかど保健室田町館」と相互に連携を図り誘客を図る。さらに、観光コンシェルジュによる門前地区の案内コースの中に両施設も含めてもらい、観光拠点としての位置づけをしていく。

・県内の美術館等との関連企画展を開催し、市で所蔵している美術品および久保貞次郎が支援した芸術家の作品美術品を相互貸借するなど、県内外の美術館等との連携も図りながら本市の文化芸術の振興を図る。

・有形文化財における修復等の保護対策の充実を図る。有形文化財をはじめ歴史的文化資産を活用したまちづくりや観光資源として観光部門との連携を図る。

・無形文化財の地域担い手の後継者育成や映像記録収集等の継承対策に取り組んでいく。

4. 構成事業一覧（個別事務事業一覧）

NO	総重、総新 戦拡、戦新	事務事業名	担当	成果指標			評価結果
				成果指標名	単位	令和4 年度実績	今後の方向性
1		指定文化財修繕支援事業	文化課文化財係	国、県補助金を受け修繕された文化財の件数	件	1	現状維持
				市補助金を受け修繕された文化財の件数	件	0	現状維持
				新設、修繕した文化財解説板等の件数	件	3	現状維持
2		無形民俗文化財保存育成支援事業	文化課文化財係	指定無形民俗文化財保存団体数	団体	9	現状維持
				その他の無形民俗文化財保存団体数	団体	6	現状維持
				指定、その他の無形民俗文化財の後継者数	人	297	現状維持
3		文化財保護啓発事業	文化課文化財係	歴史教室開催（参加者延べ人数）	人	368	現状維持
				文化財めぐり開催（参加者延べ人数）	人	43	現状維持
4		大内資料館管理事業	文化課文化財係	登録文化財大内資料館の適切な保存のための修繕	箇所	0	現状維持
				敷地の適正管理のための樹木剪定、除草作業委託	回	12	現状維持
				利用者数	人	96	現状維持
5		金鈴荘管理運営事業	文化課文化財係	修繕により復元した箇所数	箇所	0	現状維持
				見学者数	人	9570	現状維持
				撮影等使用者数	人	1725	現状維持
6		桜町陣屋跡管理事業	文化課文化財係	見学者数	人	5008	現状維持
				報徳田活用イベント参加者数	人	450	現状維持
7		真岡市美術展開催事業	文化課文化振興係	出品作品数	―	―	現状維持
				開催日数	日	10	現状維持
				１日あたりの入場者数	人	68.8	現状維持
8		真岡市文化祭開催事業	文化課文化振興係	文芸・展示部門出品数、将棋大会参加者数	人	1,368	現状維持
				ホール部門出演演目数	演目	50	現状維持
				入場者数	人	1,164	現状維持
9		真岡市音楽祭開催事業	文化課文化振興係	観客数（来場者＋動画視聴者）	人	1,919	事業のやり方改善
				参加者数(出演者＋運営スタッフ）スタッフは出演しない団体から	人	347	事業のやり方改善
10		真岡市文化協会運営補助事業	文化課文化振興係	文化協会加入団体数	団体	98	事業のやり方改善
				会員数	人	1,690	事業のやり方改善
11		移動音楽鑑賞教室実施事業	文化課文化振興係	市内中学生のうち参加した中学生の割合	%	29.1	現状維持
12		市民芸術鑑賞事業	文化課文化振興係	真岡市芸術鑑賞会会員数	人	611	現状維持
				映画会来場者のうち会員の割合（2464人/3025人）	%	81.5	現状維持
13		子ども未来育成事業	文化課文化振興係	市内小中学校の内利用した学校数	校	5	現状維持

4. 構成事業一覧（個別事務事業一覧）

NO	総重、総新 戦拡、戦新	事務事業名	担当	成果指標			評価結果
				成果指標名	単位	令和4 年度実績	今後の方向性
				派遣回数	回	78	現状維持
14		音楽文化振興事業	文化課文化振興係	クラシック音楽鑑賞教室参加者数	人	174	現状維持
				若手演奏家支援事業参加者数	人	183	現状維持
15		栃木県立美術館収蔵品展（アートリンクとちぎ）事業	文化課文化振興係	入場者数	人	0	現状維持
16		美術品展示館・久保資料室運営事業	文化課文化振興係	美術品展示館入場者数	人	11,714	現状維持
				資料室入場者数	人	5,431	現状維持
17		まちかど美術館運営事業	文化課文化振興係	入場者数	人	1,309	現状維持
18		市民会館管理運営事業	文化課文化振興係	市民会館の利用人数	人	35,423	現状維持
				市民会館の利用回数	回	378	現状維持
19		市民会館管理運営事業	文化課文化振興係	市民会館の利用人数	人	35,423	現状維持
				市民会館の利用回数	回	378	現状維持
20		美術館めぐり	文化課文化振興係	開催回数	回	2	現状維持
				参加者数	人	72	現状維持
				募集人員に対する申込み者の割合	%	98	現状維持
21	総新	ワークショップフェスタ・子ども美術館開催事業	文化課文化振興係	ワークショップフェスタ参加申込者数		92	現状維持
				子ども学芸員への申込者数		8	現状維持
				もおか子ども美術館会期中１日当たりの入館者数		33.7	現状維持